

○長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程

平成16年4月1日

医歯薬学総合研究科規程第1号

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎大学大学院学則（平成16年学則第2号。以下「学則」という。）及び長崎大学学位規則（平成16年規則第11号。以下「学位規則」という。）に定めるもののほか、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（以下「研究科」という。）の教育方法、課程の修了要件等の教育課程に関し必要な事項を定めるものとする。

(研究科の目的)

第2条 研究科は、医学、歯学及び薬学分野における教育研究内容の高度化及び学際化を図ることにより、高度の専門的知識と経験を有し、基礎研究、先端医療、創薬、保健行政、国際貢献等の各分野において課題探求能力を備えた研究者及び教育者を養成し、もって医療科学の発展に資することを目的とする。

(専攻、課程及び履修コース並びに専攻の目的)

第3条 研究科の専攻及び課程は、次のとおりとする。

専攻	課程	
保健学専攻 災害・被ばく医療科学共同専攻	修士課程	
医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻	博士課程	
生命薬科学専攻	前期2年の課程	博士課程
	後期3年の課程	

2 保健学専攻の学生は、遺伝看護について高度の知識と実践能力を有する高度職業専門職者養成のためのカリキュラムを必修とする遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、がん医療に携わる専門看護師養成のためのカリキュラムを必修とするがん看護専門看護師養成コース、助産師養成のためのカリキュラムを必修とする助産師養成コース及び保健師養成のためのカリキュラムを必修とする保健師養成コースに所属することができる。

3 災害・被ばく医療科学共同専攻の学生は、医科学コース又は保健看護学コースに所属する。

- 4 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻の学生は，がんゲノム医療に携わる専門医師養成のためのカリキュラムを必修とするがんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療に携わる専門薬剤師のためのカリキュラムを必修とするがんゲノム医療専門薬剤師養成コース，ライフステージに応じたがん対策及びがん在宅医療に携わる専門医師養成のためのカリキュラムを必修とする包括的がん専門医師・歯科医師養成コース及びライフステージに応じたがん対策及びがん在宅医療に携わる専門薬剤師養成のためのカリキュラムを必修とする包括的がん専門薬剤師養成コースに所属することができる。
- 5 医療科学専攻の学生は，専門薬剤師養成のためのカリキュラムを必修とする専門薬剤師養成コース，コーディネーター養成コース，ハイブリッド医療人養成のためのカリキュラムを必修とするハイブリッド医療人養成コース及び地域包括ケア研究医養成のためのカリキュラムを必修とする地域包括ケア研究医養成コースに所属することができる。
- 6 新興感染症病態制御学系専攻の学生は，学則第7条の3の規定により開設する熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラムにおける熱帯病・新興感染症制御分野の専門家及び専門医の育成のためのカリキュラムを必修とする熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースに選抜試験に合格することにより所属することができる。
- 7 生命薬科学専攻の前期2年の課程（以下「生命薬科学専攻博士前期課程」という。）に，特別コースを置く。
- 8 生命薬科学専攻の後期3年の課程（以下「生命薬科学専攻博士後期課程」という。）に，特別コースを置く。
- 9 各専攻の教育研究上の目的は，次のとおりとする。
 - (1) 保健学専攻は，保健学専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養し，保健学の高度専門職業人の育成を行うことを目的とする。
 - (2) 災害・被ばく医療科学共同専攻は，放射線災害を含む複合型災害において必要な高度の専門知識及び能力を修得させるとともに，専攻分野の基礎的素養を涵養し，長期的にわたって健康影響に適切に対応できる高度専門職業人の育成を行うことを目的とする。
 - (3) 医療科学専攻は，医療科学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び疾患の本質・病態を科学的なロジックで理解することができる学識を養うことを目的とする。
 - (4) 新興感染症病態制御学系専攻は，感染症分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度

の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(5) 放射線医療科学専攻は、放射線医療科学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(6) 先進予防医学共同専攻は、先進予防医学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(7) 生命薬科学専攻博士前期課程は、生命薬科学分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、薬科学に関連する分野の基礎的素養を涵養し、高い国際性と倫理観を備えた創薬研究者及び高度専門職業人の育成を行うことを目的とする。

(8) 生命薬科学専攻博士後期課程は、生命薬科学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(入学の時期)

第4条 学生の入学の時期は、学期の始めとする。

(教育方法等)

第5条 研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

2 医歯薬学総合研究科教授会（以下「教授会」という。）は、授業科目の履修指導及び研究指導を行うため、学生ごとに主任指導教員及び副指導教員を定める。

(授業科目、単位数等)

第6条 研究科における授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

2 研究科における授業科目、単位数等は、別表第1のとおりとする。

3 授業科目の授業は、原則として、前期及び後期にそれぞれ開設する。

(保健学専攻の最低修得単位数)

第7条 保健学専攻における最低修得単位数は、別表第2に定めるとおりとする。

(災害・被ばく医療科学共同専攻の最低修得単位数)

第7条の2 災害・被ばく医療科学共同専攻における最低修得単位数は、別表第3に定めるとおりとする。

(医療科学専攻等の最低修得単位数)

第8条 医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻（各専攻のがんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース、包括的がん専門医師・歯科医師養成コース、がんゲノム医療専門薬剤師養成コース、包括的がん専門薬剤師養成コース、専門薬剤師養成コース、コーディネーター養成コース、ハイブリッド医療人養成コース、地

域包括ケア研究医養成コース及び熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く。)における最低修得単位数は、別表第4に定めるとおりとし、がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース及び包括的がん専門医師・歯科医師養成コースの最低修得単位数は別表第5に、がんゲノム医療専門薬剤師養成コース、包括的がん専門薬剤師養成コース、専門薬剤師養成コース、コーディネーター養成コース、ハイブリッド医療人養成コース及び地域包括ケア研究医養成コースの最低修得単位数は別表第6に、熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースの最低修得単位数は別表第7に定めるとおりとする。

(先進予防医学共同専攻の最低修得単位数)

第8条の2 先進予防医学共同専攻における最低修得単位数は、別表第8に定めるとおりとする。

(生命薬科学専攻博士前期課程の最低修得単位数)

第9条 生命薬科学専攻博士前期課程における最低修得単位数は、別表第9に定めるとおりとする。

(生命薬科学専攻博士後期課程の最低修得単位数)

第10条 生命薬科学専攻博士後期課程における最低修得単位数は、別表第10に定めるとおりとする。

(指導教員による履修指導等)

第11条 学生は、履修する授業科目の選定に当たっては、主任指導教員による履修指導を受けなければならない。

2 学生は、学位論文の作成に当たっては、主任指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。

(履修の手続)

第12条 学生は、在学中に履修しようとする授業科目について、所定の期日までに履修計画表により、主任指導教員の承認を得て、登録しなければならない。

2 学生の授業科目の履修に関する手続については、別に定める。

(考査及び単位の授与)

第13条 授業科目を履修した学生に対しては、考査を行い、合格した者に対しては、単位を与える。

2 考査は、試験、研究報告その他の方法により行うものとする。

3 授業科目の成績評価の基準及び評語については、次のとおりとする。

判定	成績評価	評語	成績評価基準
合格	100～90点	AA	A以上に優れている

	89～80点	A	授業科目の到達目標以上に高度な内容を身に付けており、授業で身に付けるべき内容を十分に習得している
	79～70点	B	C以上に優れているがAに満たない場合
	69～60点	C	授業科目の到達目標を満たしており、授業で身に付けるべき最低限の内容を習得している
不合格	59点以下	D	授業科目の到達目標を満たしていない

(試験)

第14条 試験は、授業科目の筆記試験、口頭試験又は研究報告とし、授業が終了する学期末に行う。

2 学生が、病気、忌引、事故その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった場合には、願い出により追試験を行うことがある。

3 試験の結果、不合格となった学生については、再試験を行うことがある。

(他の研究科及び大学院における履修等)

第15条 学則第15条及び第15条の2の規定により学生が他の研究科及び大学院において履修した授業科目及び修得した単位は、15単位を限度として、研究科において履修した授業科目及び修得した単位とみなすことができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第15条の2 学則第15条の3の規定により、学生が入学前に履修した授業科目及び修得した単位は、15単位を限度として第7条から第10条までに規定する修得すべき授業科目及び単位として認定することができる。この場合において、当該単位数は、前条により研究科において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

2 前項の認定方法については、別に定める。

(入学前の既修得単位数等を勘案した在学期間の短縮)

第15条の3 学則第15条の3の規定により入学前に修得した単位を研究科において修得したものとみなす場合であって、当該単位の修得により研究科（生命薬科学専攻博士後期課程を除く。）の教育課程の一部を履修したものと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で研究科が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、保健学専攻修士課程、災害・被ばく医療科学共同専攻修士課程及び生命薬科学専攻博士前期課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

(共同教育課程に係る単位の認定等)

第15条の4 学則第17条の3の規定により、学生が災害・被ばく医療科学共同専攻又は先進予防医学共同専攻を構成する他の大学院において履修した当該共同教育課程に係る授業科目について修得した単位を、研究科における教育課程に係る授業科目の履修により修得したものとみなすものとする。

2 学則第17条の3第2項の規定により、学生が災害・被ばく医療科学共同専攻又は先進予防医学共同専攻を構成する他の大学院において受けた当該共同教育課程に係る研究指導を、研究科において受けた共同教育課程に係るものとみなすものとする。

(他の大学院等における研究指導)

第16条 学則第17条の規定により、学生が他の大学院又は研究所等(外国の大学院等を含む。)において、必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、生命薬科学専攻博士前期課程の学生については、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

(転入学、再入学等)

第17条 学則第31条第1項及び第36条の規定により、転入学、転科、転専攻又は再入学を願い出た者の選考は、教授会において審議し、学長が行う。

2 前項の選考方法については、別に定める。

(進学)

第18条 学則第37条の規定により進学を志願する者の選考は、教授会において審議し、学長が行う。

2 前項の選考方法については、別に定める。

(社会人及び外国人留学生のための特別選抜試験)

第19条 社会人で入学を志願する者又は外国人留学生として入学を志願する者があるときは、医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻、放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程にあつては学則第26条第2項に規定する入学資格を、保健学専攻及び災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程並びに生命薬科学専攻博士前期課程にあつては学則第24条に規定する入学資格を、生命薬科学専攻博士後期課程にあつては学則第25条に規定する入学資格を有すると認められる者に限り、特別の入学者選抜試験(以下「特別選抜試験」という。)を行い、選抜することができる。

2 前項の特別選抜試験に関し必要な事項は、別に定める。

(教育方法の特例)

第20条 社会人特別選抜試験により入学した学生その他教育上特別の必要があると認められる学生については、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うものとする。

(長期履修)

第20条の2 学則第16条の規定により、学生が修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修すること（以下「長期履修」という。）を希望する場合は、これを認めることがある。

2 長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

(学位論文の提出)

第21条 学生は、学位論文の審査を受けようとするときは、主任指導教員の承認を得て、学位規則による所定の書類を教授会の指定した期日までに提出しなければならない。

(最終試験)

第22条 保健学専攻の修士課程の最終試験は、第7条に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、修士論文を提出した者について行う。

2 災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程の最終試験は、第7条の2に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、修士論文を提出した者について行う。

3 医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻の博士課程の最終試験は、第8条に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、博士論文を提出した者について行う。

4 先進予防医学共同専攻の博士課程の最終試験は、第8条の2に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、博士論文を提出した者について行う。

5 生命薬科学専攻博士前期課程の最終試験は、第9条に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、修士論文を提出した者について行う。

6 生命薬科学専攻博士後期課程の最終試験は、第10条に規定する最低修得単位数を修得し、かつ、博士論文を提出した者について行う。

(学位論文の審査及び最終試験の方法)

第23条 教授会は、学位規則の定めるところにより審査委員を定め、学位論文の審査及び最終試験を行う。

2 最終試験は、学位論文を中心とし、これに関連のある科目について、口頭又は筆頭により行う。

3 教授会は、審査委員の報告に基づき、学位論文及び最終試験の可否を審議する。

(課程修了の要件)

第24条 保健学専攻の修士課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、第7条に定める最低修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

2 災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、第7条の2に定める最低修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修

士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

- 3 前項に定めるもののほか、それぞれの構成大学院（学則第7条の4第2項に規定する構成大学院をいう。以下同じ。）において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上を修得することとする。ただし、当該単位数には、第15条から第15条の3までの規定により修得した単位、修得したものとみなすことができる単位又はみなすものとする単位を含まないものとする。
- 4 医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻の博士課程の修了の要件は、当該課程に4年以上在学し、第8条に定める最低修得単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。
- 5 先進予防医学共同専攻の博士課程の修了の要件は、当該課程に4年以上在学し、第8条の2に定める最低修得単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。
- 6 前項に定めるもののほか、それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上を修得することとする。ただし、当該単位数には、第15条から第15条の3までの規定により修得した単位、修得したものとみなすことができる単位又はみなすものとする単位を含まないものとする。
- 7 生命薬科学専攻博士前期課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、第9条に定める最低修得単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
- 8 生命薬科学専攻博士後期課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、第10条に定める最低修得単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

（学位の授与）

第25条 保健学専攻及び災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程、医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻、放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程並びに生命薬科学専攻博士前期課程及び生命薬科学専攻博士後期課程を修了した者には、学位規則の定めるところにより、それぞれ修士又は博士の学位を授与する。

（外国人留学生）

第26条 学則第46条及び長崎大学外国人留学生規則（平成16年規則第20号）に定めるもののほか、外国人留学生に関し必要な事項は、別に定めることができる。

(放射線看護専門看護師養成プログラム)

第27条 研究科においては、放射線看護専門看護師養成のため、災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程の学生及び同専攻を修了した者並びに保健学専攻放射線看護専門看護師養成コースを修了した者を対象に、放射線看護専門看護師養成プログラムを編成する。

2 前項の放射線看護専門看護師養成プログラムの授業科目について履修を希望する災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程を修了した者及び保健学専攻放射線看護専門看護師養成コースを修了した者があるときは、教授会の議を経て、学長が科目等履修生として入学を許可することができる。

3 放射線看護専門看護師養成プログラムの細部については、別に定める。

第28条 削除

(補則)

第29条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施の細部に関し必要な事項は、別に定めることができる。

附 則 (令和4年3月9日医歯薬学総合研究科規程第1号)

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年3月31日現在本研究科に在学している者については、改正後の長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1

授業科目及び単位数

1 保健学専攻

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
共通科目	生体情報科学特論		2		1
	研究方法特論Ⅰ		2		1
	研究方法特論Ⅱ		2		1
	保健学研究の統計的理論と実践		2		1
	保健医療社会学特論		2		1

			グローバルヘルス特論		2		1
			開発協力特論		2		1
			生体機能解析・制御学特論		2		1
			臨床免疫学特論		2		1
			教育に関する科目1 ※1			2	1
			教育に関する科目2 ※1			2	1
専 門 科 目	看 護 学 分 野	看護	看護実践科学特論		2		1
		看護 実践 科学	コンサルテーション特論		2		1
			看護管理学特論		2		1
			看護倫理		2		1
			看護理論		2		1
			看護教育論		2		1
			看護実践科学セミナー		2		1
			看護実践科学分野特別研究		1 0		2
	公衆 衛生 看護 学		公衆衛生看護学特論		2		1
			公衆衛生看護学セミナー		2		1
			ヘルスプロモーション特論		2		1
			公衆衛生看護学分野特別研究		1 0		2
	リ プ ロ ダ ク テ ィ ブ ヘル		リプロダクティブヘルス特論		2		1
			リプロダクティブヘルスセミナー		2		1
			周産期救急ケア演習		2		2
			母子保健支援論		2		1

	ス	地域・国際助産学		2		1
		地域助産学演習		2		2
		国際助産学演習		2		2
		リプロダクティブヘルス分野特別研究		1 0		2
理学療法学分野	理学療法	心臓・呼吸機能障害理学療法学特論		2		1
		発達障害理学療法学特論		2		1
		運動障害理学療法学特論		2		1
		地域リハビリテーション学特論		2		1
		理学療法学セミナー		2		1
		理学療法学特別研究		1 0		2
作業療法学分野	作業療法	身体障害作業療法学特論		2		1
		生活障害作業療法学特論		2		1
		精神障害作業療法学特論		2		1
		基礎作業療法学特論		2		1
		発達障害作業療法学特論		2		1
		作業療法学セミナー		2		1
		作業療法学特別研究		1 0		2

※1 教育に関する科目1及び教育に関する科目2は、看護学の研究分野に在籍する者は受講することができない。

2 保健学専攻における遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	

共通科目		保健医療社会学特論	2			1
専門科目	看護実践科学	看護倫理	2			1
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス分野特別研究	10			2
研究科が開設する 遺伝看護関連科目		遺伝看護セミナー	2			1
		分子遺伝系	2			1
		基礎遺伝解析学演習	2			1
		遺伝医療学	2			1
		医療情報特論	2			1
		カウンセリング技法	1			1
		遺伝看護実習	1			1
		遺伝カウンセリング実習	6			1・2

3 保健学専攻におけるがん看護専門看護師養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
共通科目	生体情報科学特論	2			1
	研究方法特論 I		2		1
専門科目	看護実践科学		2		1
	看護実践科学		2		1
	看護実践科学		2		1

	看護理論		2		1
	看護教育論		2		1
研究科が開設する がん看護関連科目	フィジカルアセスメント特論	2			1
	臨床薬理学	2			1
	集学的がん治療学特論	2			1
	がん看護特論	2			1
	がん看護援助論	2			1
	がん薬物療法看護Ⅰ	2			1
	がん薬物療法看護Ⅱ	2			1
	緩和ケアⅠ	2			1
	緩和ケアⅡ	2			1
	がん看護学実習Ⅰ	1			1
	がん看護学実習Ⅱ	3			2
	がん看護学実習Ⅲ	2			2
	がん看護学実習Ⅳ	2			2
	がん看護学実習Ⅴ	2			2
	がん看護学課題研究	4			2

4 保健学専攻における助産師養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準 履修 年次
		必修	選択 必修	選択	
共通科目	生体情報科学特論		2		1
	研究方法特論Ⅰ		2		1

		研究方法特論Ⅱ		2		1
		保健学研究の統計的理論と実践		2		1
		保健医療社会学特論		2		1
		グローバルヘルス特論		2		1
		開発協力特論		2		1
		生体機能解析・制御学特論		2		1
		臨床免疫学特論		2		1
専門科目	看護実践科学	看護実践科学特論		2		1
		コンサルテーション特論		2		1
		看護管理学特論		2		1
		看護倫理		2		1
		看護理論		2		1
		看護教育論		2		1
		看護実践科学セミナー		2		1
		看護実践科学分野特別研究		1 0		2
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論		2		1
		公衆衛生看護学セミナー		2		1
		ヘルスプロモーション特論		2		1
		公衆衛生看護学分野特別研究		1 0		2
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス特論		2		1
		リプロダクティブヘルスセミナー		2		1
		周産期救急ケア演習	2			2

	ルス	母子保健支援論	2		1
		地域・国際助産学	2		1
		地域助産学演習		2	2
		国際助産学演習		2	2
		リプロダクティブヘルス分野特別研究		1 0	2
研究科が開設する 助産師養成関連科 目	助産業務管理学	1		1	
	助産業務管理学実習	2		2	
	ウイメンズヘルス特論	1		1	
	ウイメンズヘルス演習	1		2	
	高度助産技術実践論	2		2	
	妊娠期助産診断・ケア学	2		1	
	分娩期助産診断・ケア学	4		1	
	産褥新生児期助産診断・ケア学	2		1	
	育児期助産診断・ケア学	2		1	
	ハイリスク助産診断・ケア学	2		1	
	助産学実習Ⅰ	2		1	
	助産学実習Ⅱ	8		1	
	助産学実習Ⅲ	2		2	

5 保健学専攻における保健師養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準 履修 年次
		必修	選択 必修	選 択	
共通科目	生体情報科学特論		2		1
	研究方法特論Ⅰ		2		1

		研究方法特論Ⅱ	2		1
		保健学研究の統計的理論と実践	2		1
		保健医療社会学特論		2	1
		グローバルヘルス特論		2	1
		開発協力特論		2	1
		生体機能解析・制御学特論		2	1
		臨床免疫学特論		2	1
専門科目	看護実践科学	看護実践科学特論		2	1
		コンサルテーション特論		2	1
		看護管理学特論		2	1
		看護倫理		2	1
		看護理論		2	1
		看護教育論		2	1
		看護実践科学セミナー		2	1
		看護実践科学分野特別研究		10	2
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論		2	1
		公衆衛生看護学セミナー		2	1
		ヘルスプロモーション特論	2		1
		公衆衛生看護学分野特別研究		10	2
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス特論		2	1
		リプロダクティブヘルスセミナー		2	1
		周産期救急ケア演習		2	2
		母子保健支援論		2	1
		地域・国際助産学		2	1

		地域助産学演習		2		2
		国際助産学演習		2		2
		リプロダクティブヘルス分野特別研究		10		2
研究科が開設する保健師養成関連科目		公衆衛生看護学原論	2			1
		公衆衛生看護支援論	2			1
		健康支援技術論	2			1
		公衆衛生看護学演習	2			1
		公衆衛生看護活動展開論	2			1
		地域診断学演習	2			1
		産業保健学	1			2
		産業保健学演習	1			2
		学校保健学	1			2
		公衆衛生看護管理学	2			2
		健康危機管理論	2			1
		保健医療福祉行政論	2			1
		健康政策学	2			1
		社会調査法	2			1
		保健医療データ解析学	1			1
		公衆衛生看護学実習	4			1
	公衆衛生看護管理実習	1			2	

6 災害・被ばく医療科学共同専攻における医科学コースの科目

科目区分	授業科目	開設大学		単位数			標準履修年次
		長	福	必	選	選	

		崎 大 学	島 県 立 医 科 大 学	修	択 必 修	択	
基礎科目	研究方法特論	○	○	2			1
	リスクコミュニケーション学	○		1			1
	基礎放射線医科学※1	○	○	2			1
	災害看護学概論		○		1		1
	救急医学概論		○	1			1
	災害医学概論		○		1		1
	被ばく影響学Ⅰ	○			1		1
	被ばく影響学Ⅱ	○			1		1
	放射線防護学Ⅰ	○	○	1			1
	放射線防護学Ⅱ	○	○		1		1
	緊急被ばく医療概論Ⅰ		○		1		1
	緊急被ばく医療概論Ⅱ		○		1		1
	メンタルヘルス概論	○			2		1
	リスクアセスメント概論	○			2		1
	疫学		○		2		1
専門科目	社会医学特論	○		2			1
	国際保健学特論	○			2		1
	災害こころの医学		○		2		1

	災害医学特論		○		2		1
	リスク管理学特論	○			2		1
	国際プロジェクト管理学	○				2	1
	保健医療社会学特論	○				2	1
	シミュレーション医療教育学		○			2	1
	災害地域ヘルスプロモーション学		○			2	1
	救急医学特論Ⅰ		○			1	1
	救急医学特論Ⅱ		○			1	1
	地域医療学		○			2	1
専門実習	長崎大川内村実習	○			2		2
	長崎大原爆被爆者医療実習	○			2		2
	長崎大放射線看護学実習	○			2		2
	福島医大救急医学実習		○		2		1・2
	福島医大放射線災害医療実習		○		2		1・2
課題研究	課題研究	○	○	6			2
自由科目	医学概論※2	○	○		2		1

※1 「基礎放射線医科学」は、それぞれの構成大学院から1単位ずつ修得したものとみなす。

※2 人文学系（経済学、心理学等）・教育学系・理工学系の学士課程卒業生、修士課程修了者等であって、入学時に本人の資格、学修歴を基に非医療系履修者と判定された者（以下「非医療系履修者」という。）は、「医学概論」（自由科目）は必修とする。

7 災害・被ばく医療科学共同専攻における保健看護学コースの科目

科目区分	授業科目	開設大学	単位数	標準履修年次

		長 崎 大 学	福 島 県 立 医 科 大 学	必 修	選 択 必 修	選 択	
基礎科目	研究方法特論	○	○	2			1
	リスクコミュニケーション学	○		1			1
	基礎放射線医科学※1	○	○	2			1
	災害看護学概論		○		1		1
	救急医学概論		○	1			1
	災害医学概論		○		1		1
	被ばく影響学Ⅰ	○			1		1
	被ばく影響学Ⅱ	○			1		1
	放射線防護学Ⅰ	○	○	1			1
	放射線防護学Ⅱ	○	○		1		1
	緊急被ばく医療概論Ⅰ		○		1		1
	緊急被ばく医療概論Ⅱ		○		1		1
	メンタルヘルス概論	○			2		1
	リスクアセスメント概論	○			2		1
	疫学		○		2		1
専門科目	放射線看護学	○		2			1
	災害公衆衛生看護学		○		2		1
	臨床放射線看護学	○			2		1

	放射線ヘルスプロモーション看護学	○			2		1
	国際被ばく公衆衛生看護学		○		2		1
	国際プロジェクト管理学	○				2	1
	保健医療社会学特論	○				2	1
	看護倫理		○			2	1
	看護理論	○	○			2	1
	看護教育論	○	○			2	1
	看護管理学特論	○	○			2	1
	コンサルテーション特論	○	○			2	1
	国際保健学特論	○				2	1
専門実習	長崎大川内村実習	○			2		2
	長崎大原爆被爆者医療実習	○			2		2
	長崎大放射線看護学実習	○			2		2
	福島医大救急医学実習		○		2		1・2
	福島医大放射線災害医療実習		○		2		1・2
課題研究	課題研究	○	○	6			2
自由科目	医学概論※2	○	○		2		1

※1 「基礎放射線医科学」は、それぞれの構成大学院から1単位ずつ修得したものとみなす。

※2 非医療系履修者は、「医学概論」（自由科目）は必修とする。

8 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻及び生命薬科学専攻博士後期課程の共通科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	

生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	2			1・2
生命医療科学概論	生命倫理学		1		1・2
	医療情報学		1		1・2
	国際・熱帯医学		1		1・2
生命医療科学特論	生物統計学		1		1・2
	分子細胞生物学		1		1・2
	ゲノム科学		1		1・2
	生体材料科学		1		1・2
	硬組織疾患特論		1		1・2
	医薬品化学		1		1・2
	生体分子解析学		1		1・2
	腫瘍診断治療学		1		1・2
	移植・再生医療学特論		1		1・2
	看護・リハビリテーション 科学特論		1		1・2
	包括的腫瘍学特論（基礎 編）		1		1・2
	包括的腫瘍学特論（臨床 編）		1		1・2
	神経科学特論		1		1・2
	先端医療科学特論（基礎 編）		1		1・2
先端医療科学特論（臨床 編）		1		1・2	

	先端新興感染症病態制御学特論		1		1・2
	先端放射線医療科学特論		1		1・2
	先端臨床試験特論		1		1・2
生命医療科学実習	先端機器・特殊技術実習		1		1・2

9 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻におけるがんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門医師・歯科医師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
コース科目	集学的がん治療学特論Ⅰ (総論)		1		1・2
	集学的がん治療学特論Ⅱ (がんゲノム医療)		1		1・2
	集学的がん治療学特論Ⅲ (小児・AYA・希少がん)		1		1・2
	集学的がん治療学特論Ⅳ (ライフステージに応じたがん医療)		1		1・2
	集学的がん治療学実習	2			1・2
	在宅・地域医療実習		1		1・2
	離島・僻地病院実習		2		1・2

10 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻におけるがんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コースの研究科が開設するがん拠点病院における実習科目

科目区分	授業科目	単位数	標準履修年
------	------	-----	-------

		必修	選択必修	選択	次
コース科目	がん専門薬剤師養成実習A		8		2・3
	がん専門薬剤師養成実習B		8		2・3

1 1 医療科学専攻における専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コースの研究科が開設する病院における実習科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
コース科目	専門薬剤師養成実習（感染制御）		4		2・3
	専門薬剤師養成実習（糖尿病）		4		2・3
	専門薬剤師養成実習（精神科）		4		2・3
	専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦）		4		2・3
	コーディネーター養成実習		4		2・3

1 2 医療科学専攻におけるハイブリッド医療人養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
コース科目	臨床先端医療機器特論	3			1・2
	臨床先端医療機器実習	2			1・2
	ロボティクス特論		2		1・2
	超精密加工・計測学特論		2		1・2
	応用材料強度学 I		2		1・2
	電気駆動システム設計特		2		1・2

	論				
	画像応用システム特論		2		1・2
	映像情報処理特論		2		1・2
	無機複合物性学		2		1・2
	先端高分子科学特論		2		1・2
	先進センシング科学特論		2		1・2
	先端高分子材料科学特論		2		1・2
	学外連携セミナー		2		1・2

1.3 医療科学専攻における地域包括ケア研究医養成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
コース科目	地域包括ケア特論		3		1・2
	地域包括ケア演習		2		1・2
	地域包括ケア実習		2		1・2
	在宅・地域医療実習		1		1・2
	離島・僻地病院実習		2		1・2

1.4 新興感染症病態制御学系専攻の熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースの科目

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
感染症課題解決型 科目群	ウイルス学特論	1			1
	細菌学特論	1			1
	疫学統計学特論	1			1

	寄生虫学特論	1			1・2
	病害動物学特論	1			1・2
	感染創薬学特論	1			1・2
実習演習科目群	生物医科学実習		2		1・2
	グラント申請演習		2		1・2
	海外研修		2		2・3
グローバルリーダー 教養科目群	感染症危機管理学		1		1・2
	生命倫理学		1		1・2
	文化人類学		1		1・2
	国際経済学		1		1・2
	国際法学		1		1・2
グローバルリーダー 演習科目群	コミュニケーションスキル 演習Ⅰ		1		1・2
	コミュニケーションスキル 演習Ⅱ		1		1・2
	グローバルリーダー演習 Ⅰ		1		1・2・3
	グローバルリーダー演習 Ⅱ		1		1・2・3
課題研究	課題研究Ⅰ	2			1・2
	課題研究Ⅱ	2			1・2
論文研究	論文研究Ⅰ	4			3・4
	論文研究Ⅱ	4			3・4

15 医療科学専攻の研究支援科目（課題研究及び実習科目）及び論文研究

科目区分	授業科目	単位数	標準履修年
------	------	-----	-------

			必修	選択必修	選択	次
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ（医療科学）	2			1・2
		課題研究Ⅱ（医療科学）	2			1・2
	実習科目	特別実習Ⅰ（医療科学）	2			2・3
		特別実習Ⅱ（医療科学）	2			2・3
論文研究		論文研究Ⅰ（医療科学）	4			3・4
		論文研究Ⅱ（医療科学）	4			3・4

16 新興感染症病態制御学系専攻の研究支援科目（課題研究及び実習科目）及び論文研究

科目区分		授業科目	単位数			標準履修年次
			必修	選択必修	選択	
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	2			1・2
		課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	2			1・2
	実習科目	特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）	2			2・3
		特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）	2			2・3
論文研究		論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	4			3・4
		論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	4			3・4

17 放射線医療科学専攻の研究支援科目（課題研究及び実習科目）及び論文研究

科目区分	授業科目	単位数	標準履修年次
------	------	-----	--------

			必修	選択必修	選択	次
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ（放射線医療科学）	2			1・2
		課題研究Ⅱ（放射線医療科学）	2			1・2
	実習科目	特別実習Ⅰ（放射線医療科学）	2			2・3
		特別実習Ⅱ（放射線医療科学）	2			2・3
論文研究		論文研究Ⅰ（放射線医療科学）	4			3・4
		論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	4			3・4

18 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻の研究支援科目（演習科目）

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次	
		必修	選択必修	選択		
研究支援科目	研究支援科目	肉眼解剖学演習			2	1・2
	研究支援科目	組織細胞生物学演習			2	1・2
	研究支援科目	顎顔面解剖学演習			2	1・2
	研究支援科目	細胞生物学演習			2	1・2
	研究支援科目	内臓機能生理学演習			2	1・2
	研究支援科目	生化学演習			2	1・2
	研究支援科目	腫瘍医学演習			2	1・2
	研究支援科目	分子標的医学演習			2	1・2

	加齢口腔生理学演習			2	1・2
	医科薬理学演習			2	1・2
	歯科薬理学演習			2	1・2
	病理診断科学演習			2	1・2
	基礎病理学演習			2	1・2
	口腔病理学演習			2	1・2
	生体材料学演習			2	1・2
	分子硬組織生物学演習			2	1・2
	法医学演習			2	1・2
	臨床疫学演習			2	1・2
	比較動物医学演習			2	1・2
	ゲノム機能解析学演習			2	1・2
	歯科法医学演習			2	1・2
	フロンティア口腔科学演習			2	1・2
	口腔保健学演習			2	1・2
	眼科・視覚科学演習			2	1・2
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習			2	1・2
	脳神経外科学演習			2	1・2
	麻酔集中治療医学演習			2	1・2
	心臓血管外科学演習			2	1・2
	泌尿器科学演習			2	1・2
	腫瘍外科学演習			2	1・2

	移植・消化器外科学演習			2	1・2
	産科婦人科学演習			2	1・2
	整形外科科学演習			2	1・2
	形成再建外科学演習			2	1・2
	精神神経科学演習			2	1・2
	未来メンタルヘルス学演習			2	1・2
	皮膚病態学演習			2	1・2
	循環器内科学演習			2	1・2
	消化器内科学演習			2	1・2
	呼吸器内科学演習			2	1・2
	病態解析・診断学演習			2	1・2
	小児科学演習			2	1・2
	放射線診断治療学演習			2	1・2
	臨床腫瘍学演習			2	1・2
	歯科麻酔学演習			2	1・2
	歯科矯正学演習			2	1・2
	小児歯科学演習			2	1・2
	歯周歯内治療学演習			2	1・2
	口腔インプラント学演習			2	1・2
	歯科補綴学演習			2	1・2
	口腔腫瘍治療学演習			2	1・2
	顎口腔再生外科学演習			2	1・2
	口腔診断・情報科学演習			2	1・2

	先進口腔医療開発学演習			2	1・2
	看護学演習			2	1・2
	理学療法学演習			2	1・2
	作業療法学演習			2	1・2
	保健科学演習			2	1・2
	先端臨床薬学特論			1	1・2
	先端薬物治療学特論			1	1・2
	薬物治療学演習			2	1・2
	医薬品情報学演習			2	1・2
	薬剤学演習			2	1・2
	実践薬学演習			2	1・2
	分子病態化学演習			2	1・2
	予防医学演習			2	1・2
	先端創薬学演習			2	1・2
	地域保健・福祉連携学演習			2	1・2
	内分泌・代謝内科学演習			2	1・2
	脳神経内科学演習			2	1・2
	腎臓内科学演習			2	1・2
	救命救急医療学演習			2	1・2
	脳神経病態学演習			2	1・2
	神経免疫学演習			2	1・2
	地域包括ケア学演習			2	1・2
	包括的腫瘍学演習			2	1・2
	がん個別化医療・橋渡し推			2	1・2

進学演習				
免疫学演習			2	1・2
感染分子解析学演習			2	1・2
臨床感染症学演習			2	1・2
口腔病原微生物学演習			2	1・2
臨床微生物学特論			1	1・2
感染症学特論			1	1・2
臨床感染症学実習			2	1・2
感染制御学実習			1	1・2
短期海外臨床研修			1	3
熱帯ウイルス病学演習			2	1・2
病原細菌学演習			2	1・2
病原原虫学演習			2	1・2
熱帯寄生虫学演習			2	1・2
免疫遺伝学演習			2	1・2
感染病理学演習			2	1・2
熱帯保健医療情報学演習			2	1・2
国際保健学演習			2	1・2
病害動物学演習			2	1・2
臨床熱帯医学演習			2	1・2
熱帯小児感染症学演習			2	1・2
臨床開発学演習			2	1・2
熱帯細菌学演習			2	1・2
熱帯微生物学演習			2	1・2

新興ウイルス感染症学演習			2	1・2
ウイルス感染制御学演習			2	1・2
ウイルス生態学演習			2	1・2
臓器統合制御学演習			2	1・2
医療政策学演習			2	1・2
ウイルス肝炎治療学演習			2	1・2
先端医療学演習			2	1・2
分子免疫学演習			2	1・2
機能形態学演習			2	1・2
臨床病理学演習			2	1・2
基礎抗酸菌症学演習			2	1・2
臨床抗酸菌症学演習			2	1・2
放射線災害医療学演習			2	1・2
放射線分子疫学演習			2	1・2
放射線生物・防護学演習			2	1・2
放射線・環境健康影響学演習			2	1・2
ゲノム機能修復学演習			2	1・2
幹細胞生物学演習			2	1・2
血液内科学演習			2	1・2
アイソトープ診断治療学演習			2	1・2
国際ヒバクシャ医療学演習			2	1・2

		神経機能学演習			2	1・2
		公衆衛生学演習			2	1・2
		医療情報学演習			2	1・2
		地域医療学演習			2	1・2
		リウマチ・膠原病内科学演習			2	1・2
		総合診療学演習			2	1・2
		国際保健医療福祉学演習			2	1・2
		人類遺伝学演習			2	1・2
		分子医学演習			2	1・2
		腫瘍・診断病理学演習			2	1・2

19 先進予防医学共同専攻

科目区分	授業科目	開設大学			単位数			標準履修年次	
		千葉大学	金沢大学	長崎大学	必修	選択必修	選択		
医学基礎科目	医学基礎※	○	○	○		2		1	
予防医学基盤科目	医療統計学・疫学	○	○	○	1			1	
	環境と遺伝	○	○	○	1			1	
	生命倫理	○	○	○	1			1	
先進予防医学に関する科目	オミクス解析領域	オミクス解析		○		1			1
		分子腫瘍医科学		○			1		1・2
		分子薬剤応答学		○			1		2
		栄養代謝学		○			1		1・2

		臨床遺伝学			○		1		1・2
情報 医工 学領 域		情報医工学			○	1			1
		バイオインフォマティク ス		○			1		1・2
		探索イメージング学		○			1		2
		レギュラトリーサイエンス	○				1		1・2
		医療情報管理学	○				1		1・2
		メディカルロボティクス			○		1		2
マク ロ環 境領 域		マクロ環境	○			1			1
		医療政策・マネジメント	○				1		1・2
		サステイナブル環境健康科 学	○				1		2
		社会疫学	○				1		2
		行動・精神衛生			○		1		2
		放射線健康影響概論			○		1		1・2
		地域医療論			○		1		2
国内・海外フイ ールド実習に関 する科目		ゲノム実習（金沢）		○			1		3・4
		過疎地コホート実習		○			1		3・4
		地域医療実習（金沢）		○			1		3・4
		HIV/AIDS研究フィール ドワーク実習		○			1		3・4
		ウイルス感染症研究フィー ルドワーク実習		○			1		3・4
		寄生虫感染症研究フィー ルドワーク実習		○			1		3・4

	グローバルヘルス実習		○			1		3・4
	ゲノム実習（千葉）	○				1		3・4
	ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習	○				1		3・4
	医療機関情報実習（千葉）	○				1		3・4
	グローバルヘルス環境医学実習	○				1		3・4
	ゲノム実習（長崎）			○		1		3・4
	離島コホート実習			○		1		3・4
	原爆被爆者健康診断学実習			○		1		3・4
	放射線臨床疫学実習			○		1		3・4
	海外母子コホート実習			○		1		3・4
研究支援科目	課題研究	○	○	○	1			2
	研究実践レポート（金沢）		○			1		2
	研究実践レポート（千葉）	○				1		2
	研究実践レポート（長崎）			○		1		2
	特別研究Ⅰ	○	○	○	3			3・4
	研究開発Ⅰ（金沢）		○			2		3・4
	研究開発Ⅰ（千葉）	○				2		3・4
	研究開発Ⅰ（長崎）			○		2		3・4
	特別研究Ⅱ	○	○	○	5			3・4

研究デベロップメントⅡ (金沢)		○			5		3・4
研究デベロップメントⅡ (千葉)	○				5		3・4
研究デベロップメントⅡ (長崎)			○		5		3・4

※ 非医療系履修者は、「医学基礎」(医学基礎科目)は必修とする。

20 生命薬科学専攻博士前期課程

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
共通科目	創薬プロセス特論Ⅰ			1	1・2
	創薬プロセス特論Ⅱ			1	1・2
	創薬プロセス特論Ⅲ			1	1・2
	創薬プロセス特論Ⅳ			1	1・2
	特別薬科学演習Ⅰ			1	1・2
	特別薬科学演習Ⅱ			1	1・2
	生命薬科学トピックスⅠ			1	1・2
	生命薬科学トピックスⅡ			1	1・2
分子創薬科学	メディシナルケミストリー特論Ⅰ			1	1・2
	メディシナルケミストリー特論Ⅱ			1	1・2
	メディシナルケミストリー特論Ⅲ			1	1・2
	メディシナルケミストリー特論Ⅳ			1	1・2
	メディシナルケミストリー特論Ⅴ			1	1・2

メディシナルケミストリー特論VI			1	1・2
メディカルバイオ特論 I			1	1・2
メディカルバイオ特論 II			1	1・2
メディカルバイオ特論 III			1	1・2
メディカルバイオ特論 IV			1	1・2
メディカルバイオ特論 V			1	1・2
メディカルバイオ特論 VI			1	1・2
メディカルバイオ特論 VII			1	1・2
メディカルバイオ特論 VIII			1	1・2
* Bioorganic Chemistry for Environmental Science I			1	1・2
* Bioorganic Chemistry for Environmental Science II			1	1・2
* Cell Biology for Health Science I			1	1・2
* Cell Biology for Health Science II			1	1・2
* Pharmacology and Drug Discovery I			1	1・2
* Pharmacology and Drug Discovery II			1	1・2
* Pharmaceutical Organic Chemistry for Infectious Diseases I			1	1・2
* Pharmaceutical Organic Chemistry for Infectious Diseases II			1	1・2
* Synthesis of Drugs for Infectious Diseases I			1	1・2
* Synthesis of Drugs for Infectious Diseases II			1	1・2

	* Molecular Biology of Neurodegenerative Diseases I			1	1・2
	* Molecular Biology of Neurodegenerative Diseases II			1	1・2
	* Molecular Biology of Infectious Agents I			1	1・2
	* Molecular Biology of Infectious Agents II			1	1・2
	分子創薬科学課題研究 I	4			1～ 2
	分子創薬科学特別実験	1 6			1～ 2
	* Exercise Biomedical Sciences	4			1～ 2
	* Experiment Biomedical Sciences	1 6			1～ 2
天然薬物学	天然薬物資源学特論 I			1	1・2
	天然薬物資源学特論 II			1	1・2
	天然薬物資源学特論 III			1	1・2
	天然薬物資源学特論 IV			1	1・2
	* Natural Product Chemistry for Infectious Diseases I			1	1・2
	* Natural Product Chemistry for Infectious Diseases II			1	1・2
	* Resources of Marine Natural Medicines for Infectious Diseases			0. 5	1・2
	* Resources of Natural Medicines for			0.	1・2

	Infectious Diseases			5	
	天然薬物資源学課題研究 I	4			1 ~ 2
	天然薬物資源学特別実験	1 6			1 ~ 2
	* Exercise Biomedical Sciences	4			1 ~ 2
	* Experiment Biomedical Sciences	1 6			1 ~ 2
健康薬科学	ヘルスサイエンス特論 I			1	1・2
	ヘルスサイエンス特論 II			1	1・2
	ヘルスサイエンス特論 III			1	1・2
	ヘルスサイエンス特論 IV			1	1・2
	ヘルスサイエンス特論 V			1	1・2
	ヘルスサイエンス特論 VI			1	1・2
	* Chemistry of Biofunctional Molecules for Infectious Diseases I			1	1・2
	* Chemistry of Biofunctional Molecules for Infectious Diseases II			1	1・2
	* Inorganic Chemistry in Health and Environmental Sciences I			1	1・2
	* Inorganic Chemistry in Health and Environmental Sciences II			1	1・2
	* Analytical Chemistry in Health and Environmental Sciences I			1	1・2
	* Analytical Chemistry in Health and Environmental Sciences II			1	1・2

	健康薬科学課題研究 I	4			1 ~ 2
	健康薬科学特別実験	1 6			1 ~ 2
	* Exercise Biomedical Sciences	4			1 ~ 2
	* Experiment Biomedical Sciences	1 6			1 ~ 2
臨床薬学	臨床応用薬学特論 I			1	1・2
	臨床応用薬学特論 II			1	1・2
	臨床応用薬学特論 III			1	1・2
	臨床応用薬学特論 IV			1	1・2
	臨床薬学課題研究 I	4			1 ~ 2
	臨床薬学特別実験	1 6			1 ~ 2
	* Exercise Biomedical Sciences	4			1 ~ 2
	* Experiment Biomedical Sciences	1 6			1 ~ 2

備考 授業科目欄の*印は、特別コースの授業科目を示す。

2 1 生命薬科学専攻博士後期課程（特別コースを除く。）

科目区分		授業科目	単位数			標準履修年次
			必修	選択必修	選択	
研究支援科目	課題研究	課題研究 II (生命薬科学)	2			1

演習科目	細胞制御学演習			1	1・2
	創薬薬理学演習			1	1・2
	薬化学演習			1	1・2
	薬品製造化学演習			1	1・2
	医薬品合成化学演習			1	1・2
	ゲノム創薬学演習			1	1・2
	天然物化学演習			1	1・2
	薬用植物学演習			1	1・2
	薬品構造解析学演習			1	1・2
	機能性分子化学演習			1	1・2
	衛生化学演習			1	1・2
	薬品分析化学演習			1	1・2
	実習科目	特別実習Ⅰ（生命薬科学）	2		
特別実習Ⅱ（生命薬科学）				2	2・3
論文研究	論文研究Ⅰ（生命薬科学）	4			2
	論文研究Ⅱ（生命薬科学）			2	2・3

2.2 生命薬科学専攻博士後期課程（特別コース）

科目区分	授業科目	単位数			標準履修年次
		必修	選択必修	選択	
コース科目	Bioorganic Chemistry for Environmental Science III			1	1・2・3
	Bioorganic Chemistry for Environmental			1	1・

Science IV				2 · 3
Cell Biology for Health Science III			1	1 · 2 · 3
Cell Biology for Health Science IV			1	1 · 2 · 3
Pharmacology and Drug Discovery III			1	1 · 2 · 3
Pharmacology and Drug Discovery IV			1	1 · 2 · 3
Pharmaceutical Organic Chemistry for Infectious Diseases III			1	1 · 2 · 3
Pharmaceutical Organic Chemistry for Infectious Diseases IV			1	1 · 2 · 3
Synthesis of Drugs for Infectious Diseases III			1	1 · 2 · 3
Synthesis of Drugs for Infectious Diseases IV			1	1 · 2 · 3
Molecular Biology of Neurodegenerative Diseases III			1	1 · 2 · 3
Molecular Biology of Neurodegenerative Diseases IV			1	1 · 2 · 3
Natural Product Chemistry for Infectious Diseases III			1	1 · 2 · 3
Natural Product Chemistry for Infectious Diseases IV			1	1 · 2 · 3
Chemistry of Biofunctional Molecules for Infectious Diseases III			1	1 · 2 · 3

Chemistry of Biofunctional Molecules for Infectious Diseases IV			1	1・2・3
Inorganic Chemistry in Health and Environmental Sciences III			1	1・2・3
Inorganic Chemistry in Health and Environmental Sciences IV			1	1・2・3
Analytical Chemistry in Health and Environmental Sciences III			1	1・2・3
Analytical Chemistry in Health and Environmental Sciences IV			1	1・2・3
Exercise Biomedical Sciences	6			1～3
Experiment Biomedical Sciences	4			1～3

別表第2

- 1 保健学専攻（遺伝看護・遺伝カウンセリングコース，がん看護専門看護師養成コース，助産師養成コース及び保健師養成コースを除く。）の最低修得単位数

科目区分	修得単位数
共通科目	6 単位以上
専門科目（備考1）	14 単位以上
その他（備考2）	10 単位以上
合計	30 単位以上（備考3）

備考

- 1 指導教員が指定する専門科目14 単位（特論2 単位，セミナー2 単位及び特別研究10 単位）以上を履修する。
- 2 共通科目及び専門科目のうち指導教員と相談の上，選択履修する。この場合において，他の分野が開設する授業科目2 単位までをこれに代えることができる。
- 3 教育に関する科目1 及び教育に関する科目2 の単位は最低修得単位数には含まれ

ない。

2 保健学専攻における遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数	
共通科目	保健医療社会学特論	2 単位	
専門科目	看護実践科学	看護倫理	2 単位
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス分野特別研究	10 単位
研究科が開設する遺伝看護関連科目	遺伝看護セミナー	2 単位	
	分子遺伝系	2 単位	
	基礎遺伝解析学演習	2 単位	
	遺伝医療学	2 単位	
	医療情報特論	2 単位	
	カウンセリング技法	1 単位	
	遺伝看護実習	1 単位	
	遺伝カウンセリング実習	6 単位	
合計		32 単位	

備考 遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの学生は、必修科目の他に保健学専攻の共通科目及び専門科目（看護実践科学、公衆衛生学及びリプロダクティブヘルス）の授業科目を履修することができる。

3 保健学専攻におけるがん専門看護師養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数	
共通科目	生体情報科学特論	2 単位	
	研究方法特論 I	8 単位以上	
専門科目	看護実践科学		コンサルテーション特論
			看護管理学特論
		看護倫理	

		看護理論	
		看護教育論	
研究科が開設するがん看護 関連科目		フィジカルアセスメント特論	2 単位
		臨床薬理学	2 単位
		集学的がん治療学特論	2 単位
		がん看護特論	2 単位
		がん看護援助論	2 単位
		がん薬物療法看護 I	2 単位
		がん薬物療法看護 II	2 単位
		緩和ケア I	2 単位
		緩和ケア II	2 単位
		がん看護学実習 I	1 単位
		がん看護学実習 II	3 単位
		がん看護学実習 III	2 単位
		がん看護学実習 IV	2 単位
		がん看護学実習 V	2 単位
	がん看護学課題研究	4 単位	
合計			4 2 単位以上

備考 がん看護専門看護師養成コースの学生は、必修科目の他に保健学専攻の共通科目及び専門科目（看護実践科学、公衆衛生看護学及びリプロダクティブヘルス）の授業科目を履修することができる。

4 保健学専攻における助産師養成コースの最低修得単位数

科目区分			修得単位数
共通科目			6 単位以上
専門科目	看護実践科学	看護実践科学特論	1 4 単位以上

(備考1)		コンサルテーション特論	
		看護管理学特論	
		看護倫理	
		看護理論	
		看護教育論	
		看護実践科学セミナー	
		看護実践科学分野特別研究	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	
		公衆衛生看護学セミナー	
		ヘルスプロモーション特論	
		公衆衛生看護学分野特別研究	
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス特論	
		リプロダクティブヘルスセミナー	
		周産期救急ケア演習	
		母子保健支援論	
		地域・国際助産学	
		地域助産学演習	
		国際助産学演習	
		リプロダクティブヘルス分野特別研究	
	その他(備考2)		
研究科が開設する助産師養成関連科目	助産業務管理学		1単位
	助産業務管理学実習		2単位
	ウイメンズヘルス特論		1単位
	ウイメンズヘルス演習		1単位

	高度助産技術実践論	2 単位
	妊娠期助産診断・ケア学	2 単位
	分娩期助産診断・ケア学	4 単位
	産褥新生児期助産診断・ケア学	2 単位
	育児期助産診断・ケア学	2 単位
	ハイリスク助産診断・ケア学	2 単位
	助産学実習Ⅰ	2 単位
	助産学実習Ⅱ	8 単位
	助産学実習Ⅲ	2 単位
合計		6 1 単位以上

備考

- 1 助産師養成コースの学生は、指導教員が指定する専門科目のリプロダクティブヘルス14単位（特論2単位、セミナー2単位及び特別研究10単位を含む。）以上を履修する。
- 2 助産師養成コースの学生は、共通科目及び専門科目（周産期救急ケア演習、母子保健支援論及び地域・国際助産学は、必修とする。）のうち指導教員と相談の上、選択履修する。この場合において、熱帯医学・グローバルヘルス研究科が開設する授業科目2単位までをこれに代えることができる。
- 5 保健学専攻における保健師養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目（備考1）	生体情報科学特論	6 単位以上
	研究方法特論Ⅰ	
	研究方法特論Ⅱ	
	保健学研究の統計的理論と実践	
	保健医療社会学特論	
	グローバルヘルス特論	

		開発協力特論	
		生体機能解析・制御学特論	
		臨床免疫学特論	
専門科目 (備考2)	看護実践科学	看護実践科学特論	14単位以上
		コンサルテーション特論	
		看護管理学特論	
		看護倫理	
		看護理論	
		看護教育論	
		看護実践科学セミナー	
		看護実践科学分野特別研究	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	
		公衆衛生看護学セミナー	
		ヘルスプロモーション特論	
		公衆衛生看護学分野特別研究	
	リプロダクティブヘルス	リプロダクティブヘルス特論	
		リプロダクティブヘルスセミナー	
		周産期救急ケア演習	
		母子保健支援論	
		地域・国際助産学	
		地域助産学演習	
		国際助産学演習	
		リプロダクティブヘルス分野特別研究	
	その他(備考3)		

研究科が開設する保健師養成関連科目	公衆衛生看護学原論	2 単位
	公衆衛生看護支援論	2 単位
	健康支援技術論	2 単位
	公衆衛生看護学演習	2 単位
	公衆衛生看護活動展開論	2 単位
	地域診断学演習	2 単位
	産業保健学	1 単位
	産業保健学演習	1 単位
	学校保健学	1 単位
	公衆衛生看護管理学	2 単位
	健康危機管理論	2 単位
	保健医療福祉行政論	2 単位
	健康政策学	2 単位
	社会調査法	2 単位
	保健医療データ解析学	1 単位
公衆衛生看護学実習	4 単位	
公衆衛生看護管理実習	1 単位	
合計	6 1 単位以上	

備考

- 保健師養成コースの学生は、研究方法特論Ⅱ及び保健学研究の統計的理論と実践を必修とする。
- 保健師養成コースの学生は、指導教員が指定する専門科目の公衆衛生看護学 1 4 単位（特論 2 単位，セミナー 2 単位及び特別研究 1 0 単位を含む。）以上を履修する。
- 保健師養成コースの学生は、共通科目及び専門科目（ヘルスプロモーション特論は、必修とする。）のうち指導教員と相談の上、選択履修する。この場合において、

熱帯医学・グローバルヘルス研究科が開設する授業科目 2 単位までをこれに代えることができる。

別表第 3

災害・被ばく医療科学共同専攻の最低修得単位数

科目区分		修得単位数
基礎科目	必修科目	7 単位
	選択必修科目	7 単位以上
専門科目	必修科目	2 単位
	選択必修科目	4 単位以上
	選択科目	4 単位以上
専門実習	選択必修科目	4 単位以上
課題研究	必修科目	6 単位
合計		3 4 単位以上

備考

各科目区分から上記の単位を修得するとともに、それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により 10 単位以上修得すること。

別表第 4

医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻（各専攻のがんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，包括的がん専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース，専門薬剤師養成コース，コーディネーター養成コース，ハイブリッド医療人養成コース，地域包括ケア研究医養成コース及び熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く。）の最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	2 単位以上
	生命医療科学特論	4 単位以上
	生命医療科学実習	

研究支援科目	必修科目	8 単位
	選択科目（備考）	6 単位以上
論文研究		8 単位
合計		30 単位以上

備考 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

別表第5

1 医療科学専攻、新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻のがんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	1 単位(備考1)
コース科目	集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）	1 単位
	集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）	1 単位
	集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）	1 単位
	集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）	1 単位
	集学的がん治療学実習	2 単位
研究支援科目	必修科目	8 単位
	選択科目（備考2）	6 単位以上
論文研究		8 単位
合計		32 単位以上

備考

- 共通科目について、生命医療科学特論の「包括的腫瘍学特論（基礎編）」を履修すること。
- 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超

えて修得した単位をもって充てることができる。

2 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻の包括的がん専門医師・歯科医師養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	1 単位（備考 1）
コース科目	集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）	3 単位以上
	集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）	
	集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）	
	集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）	
	集学的がん治療学実習	2 単位
	在宅・地域医療実習	1 単位以上
	離島・僻地病院実習	
研究支援科目	必修科目	8 単位
	選択科目（備考 2）	6 単位以上
論文研究		8 単位
合計		32 単位以上

備考

- 1 共通科目について，生命医療科学特論の「包括的腫瘍学特論（臨床編）」を履修すること。
- 2 研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

別表第 6

1 医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻及び放射線医療科学専攻のがんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	1 単位（備考1）
	生命医療科学実習	
コース科目	集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）	2 単位以上
	集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）	
	集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）	
	集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）	
	集学的がん治療学実習	2 単位
	研究科が開設するがん拠点病院における実習（備考2）	8 単位
研究支援科目	必修科目	8 単位
論文研究		8 単位
合計		32 単位以上

備考

- 1 共通科目について、がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は生命医療科学特論の「包括的腫瘍学特論（基礎編）」，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は生命医療科学特論の「包括的腫瘍学特論（臨床編）」を履修すること。
 - 2 研究科が開設するがん拠点病院における実習について、がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修すること。
- 2 医療科学専攻の専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	2 単位以上
	生命医療科学特論	4 単位以上
	生命医療科学実習	
コース科目	研究科が開設する病院における実習（備考 1）	4 単位
研究支援科目	必修科目	8 単位
	選択科目（備考 2）	4 単位以上
論文研究		8 単位
合計		3 2 単位以上

備考

- 1 研究科が開設する病院における実習について、1 コースを選択すること。ただし、2 コースまで選択することができる。
- 2 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

3 医療科学専攻のハイブリッド医療人養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	
コース科目	臨床先端医療機器特論	3 単位
	臨床先端医療機器実習	2 単位
	ロボティクス特論	4 単位以上
	超精密加工・計測学特論	
	応用材料強度学 I	

	電気駆動システム設計特論	
	画像応用システム特論	
	映像情報処理特論	
	無機複合物性学	
	先端高分子科学特論	
	先進センシング科学特論	
	先端高分子材料学特論	
	学外連携セミナー	
研究支援科目	必修科目	8 単位
	選択科目（備考）	4 単位以上
論文研究		8 単位
合計		32 単位以上

備考 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

4 医療科学専攻の地域包括ケア研究医養成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	
コース科目	地域包括ケア特論	7 単位以上
	地域包括ケア演習	
	地域包括ケア実習	
	在宅・地域医療実習	
	離島・僻地病院実習	
研究支援科目	必修科目	8 単位

	選択科目（備考）	6 単位以上
論文研究		8 単位
合計		3 2 単位以上

備考 研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

別表第 7

新興感染症病態制御学系専攻の熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
感染症課題解決型科目群	必修科目	6 単位
実習演習科目群	選択必修科目	1 2 単位以上
グローバルリーダー教養科目群		
グローバルリーダー演習科目群		
課題研究		4 単位
論文研究		8 単位
合計		3 0 単位以上

別表第 8

先進予防医学共同専攻の最低修得単位数

科目区分		修得単位数
予防医学基盤科目	必修科目	3 単位
先進予防医学に関する科目	必修科目	3 単位
	選択必修科目	3 単位以上
国内・海外フィールド実習に関する科目	選択必修科目	1 単位以上
研究支援科目	必修科目	9 単位

	選択必修科目	16単位
合計		35単位以上

備考

- 1 各科目区分から上記の単位を修得するとともに、それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上修得すること。
- 2 予防医学基盤科目は、原則として、研究科で修得すること。
- 3 先進予防医学に関する科目のうち、「選択必修科目」については、それぞれの構成大学院から1単位以上修得すること。
- 4 研究支援科目において、「課題研究」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究実践レポート」（各1単位）をそれぞれ修得すること。
- 5 研究支援科目において、「特別研究Ⅰ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅠ」（各2単位）をそれぞれ修得すること。
- 6 研究支援科目において、「特別研究Ⅱ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅡ」（各5単位）をそれぞれ修得すること。

別表第9

1 生命薬科学専攻博士前期課程（特別コースを除く。）の最低修得単位数

科目区分	修得単位数
特論（特別薬科学演習及び生命薬科学トピックスを含む。）	10単位以上
生命薬科学専攻博士前期課程が開設する課題研究	4単位
生命薬科学専攻博士前期課程が開設する特別実験	16単位
合計	30単位以上

備考 指導教員が指定する授業科目から上記修得単位数を履修する。

2 生命薬科学専攻博士前期課程特別コースの最低修得単位数

コース	科目区分	修得単位数
特別コース	Exercise Biomedical Sciences	4単位
	Experiment Biomedical Sciences	16単位
	特別コースの授業科目（Exercise Biomedical Sciences及びExperiment Biomedical Sciencesを除く。）	14単位以上

	合計	34 単位以上
--	----	---------

別表第 10

1 生命薬科学専攻博士後期課程（特別コースを除く。）の最低修得単位数

科目区分		修得単位数
共通科目	生命医療科学セミナー	2 単位
	生命医療科学概論	1 単位以上
	生命医療科学特論	1 単位以上
	生命医療科学実習	
研究支援 科目	必修科目	4 単位
	選択科目（備考）	4 単位以上
論文研究		4 単位以上
合計		16 単位以上

備考 共通科目又は所属専攻（博士後期課程に限る。）が開設する授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

2 生命薬科学専攻博士後期課程特別コースの最低修得単位数

科目区分		修得単位数
コース科目	特別コースの授業科目（Exercise Biomedical Sciences及びExperiment Biomedical Sciencesを除く。）	6 単位以上
	Exercise Biomedical Sciences	6 単位
	Experiment Biomedical Sciences	4 単位
	合計	16 単位以上